

令和7年度松戸市献血推進協議会委嘱状交付式及び協議会 会議録

- 1 日 時 令和7年7月17日(木) 10時00分～11時30分
2 場 所 松戸市中央保健福祉センター 2階集団指導室
3 出席者

【委員】

会 長	市場 卓	松戸市医師会
副会長	鶴岡 系一	松戸グリーンライオンズクラブ
委 員	武藤 金太郎	松飛台工業会
委 員	花輪 茂道	松戸訪問看護の会
委 員	岩橋 成明	松戸中央ライオンズクラブ
委 員	水野 武明	松戸東ライオンズクラブ
委 員	佐川 清	松戸ロータリークラブ
委 員	蔵本 一夫	松戸東ロータリークラブ
委 員	山岡 治	松戸西ロータリークラブ
委 員	大野 福美	松戸市赤十字奉仕団
委 員	江口 笑美子	北松戸工業会
委 員	生江 洋史	松戸商工会議所

【委員欠席者】

委 員	竹内 公一	千葉県松戸健康福祉センター
委 員	大谷 茂範	松戸ユーカーライオンズクラブ
委 員	本清 武人	松戸中央ロータリークラブ
委 員	富岡 賢祐	松戸青年会議所
委 員	伊東 好雄	稔台工業会
委 員	川井 光弘	松戸全市工業会
委 員	田茂 牧子	陸上自衛隊需品学校
委 員	勝又 英子	松戸市立松戸高等学校
委 員	岡部 真一郎	松戸市立総合医療センター

【事務局】

健康医療部 部長 青砥 英一
予防衛生課 課長 倉田 秀伸 主幹 井上 雅晴
主任主事 吉田 陽子 主事 小関 宣範

【オブザーバー】

千葉県赤十字血液センター
事業推進一副部長(兼)献血推進課長(兼)千葉出張所長 村田 淳
松戸出張所長 木村 弘幸、事業推進一部 献血推進課 主事 吉澤 美海

4 会議録

(事務局)

はじめに松戸市献血推進協議会についてご説明させていただきます。「松戸市献血推進協議会委員名簿」をご覧ください。現在、21名の委員の皆様に協議会を構成いただいております。昨年度から引き続き、委員をお引き受けくださいました方が17名、新たに委員をお引き受けくださいました方が4名となっております。皆様、どうぞよろしく願います。

それでは、会則第7条の規定により、会長が議長となることとなっておりますので、これからの進行につきましては、会長に議長をお願いしたいと存じます。市場会長、よろしく願います。

(市場会長)

議題に入る前にお知らせいたします。この協議会は、松戸市情報公開条例第32条により、公開といたしまして、傍聴も可能であることをお知らせいたします。本日の傍聴に関して、事務局より報告願います。

(事務局)

傍聴の希望はありませんでした。

(市場会長)

それでは、議事に入りたいと思いますが、事務局から補足事項はありますか。

(事務局)

議題に関する質問等への補助説明について、千葉県赤十字血液センター職員が発言することに関し、許可を頂きたいと思えます。

(市場会長)

事務局より申し出がありました、許可してよろしいでしょうか。

—異議なし—

(市場会長)

異議がないので許可します。これより議題に入ります。

令和6年度事業報告、令和6年度事業決算報告についての協議・承認を行い、その後、令和7年度事業計画(案)、令和7年度事業予算(案)についての協議・承認を行います。なお、承認については拍手をもって行いますのでよろしくお願いいたします。まず、令和6年度事業報告について事務局より、説明をお願いします。

(事務局)

それでは令和6年度事業報告に移ります。前方のスライドをご覧ください。年度別実施結果にありますように、令和6年度に千葉県より定められた献血目標は200ml換算で10,328人でした。この目標に対し、令和6年度の受付者数は2,706人、実施者数は前年と比べ406人多い2,337人の方にご協力いただきました。前年比121%となり、献血者数は200ml換算で4,549人という結果でした。千葉県が定めました献血量の目標に対する達成率は、44.0%となっております。

松戸市内における献血車両稼働台数は55台、計61会場で移動献血を実施いたしました。こちらの表は献血ルームの実施者数を含まない、松戸市内における移動採血の数値となります。

令和6年度の特徴として、3点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、令和6年度は直近6年の中で最も多い2,337人の方にご協力いただけましたという点でございます。

2点目は、受付者数2,706人に対し、実施者数2,337人ということで不適の方が369名いらっしゃいました。不適の方が369人ということは献血にお越しいただいた方のうち約13%、1割強の方はご協力いただけないという傾向を把握いただけるかと思えます。献血目標人数を設定される際には目標受付者数数に対し1割多く受付をしないと献血目標人数に到達できないという点は参考になる点かと思われまます。

3点目は、献血実施会場数61会場に対し、献血車両稼働台数は55台でございました。6会場については移動献血バスではなく、会場を設営し、採血を行いました。

令和6年度献血実施場所一覧をご覧ください。献血者数増加理由の分析をしますと、事業所での献血回数増加が特徴として挙げられます。

本日お集まりいただいております献血推進協議会所属団体の皆様においては稔台工業会の佐藤鉄工株式会社様、北松戸工業会の株式会社コロンプス様、松飛台工業会のマブチモーター株式会社様とマブチクラブ様で令和5年度と比べ実施回数が増加しており各団体2回ずつ開催いただきました。こうした積み重ねが令和6年度の献血者数増加に大きく寄与したと思われまます。

続きまして、松戸市内における男女年齢別の献血実施人数の結果となります。緑色のグラフが男性の実施人数、黄色のグラフが女性の実施人数となります。左から16歳～19歳、20代、30代、40代、50代、60代と記載させていただきました。こちらのグラフを見ますと30代男性～50代男性が多いことが分かります。また、20代～60代にかけて女性よりも男性の献血者が多いという点が特徴として挙げられます。

スライド8ページをご覧ください。こちらは献血者の性別内訳となります。

200ml献血では男性13人、女性112人。400ml献血では男性1,576人、女性636人でした。200ml換算いたしますと男性3,165人、女性1,384人でした。

女性よりも男性そして、30代～50代男性を中心に献血者が多いことが分かります。このような傾向から献血記念品の購入時には30代～50代男性に受け入れてもらいやすい品物の購入を考えるとというのも一案かと思われまます。

次のスライドの団体別内訳は松戸市全体の内訳となります。

事業所での実施回数が29回、献血者数996人と全体の約4割を占めております。松戸市の中には市役所献血の他に松戸市消防局、松戸市健康福祉会館ふれあい22、松戸市稔台市民センターでの献血が含まれております。実施回数が10回、献血者数509人で、全体の約22%を占めております。官公庁には陸上自衛隊・警察・税務署での献血が含まれております。実施回数は12回、実施人数は419人でした。最後に病院と学校がそれぞれ全体の約9%を占めます。病院には松戸市立総合医療センター、松戸リハビリテーション病院、千葉西総合病院、新東京病院となります。実施人数は209人でした。学校での実施回数は4回で聖徳大学と流通経済大学で2回ずつ実施し、204人の実施人数となりました。以上が団体別内訳となります。

続きまして、スライド10ページ目をご覧ください。市内の病院の血液の利用状況を示したものとなります。松戸市立総合医療センターと市内の他病院を合わせ、118,600単位の血液を利用いたしました。

お手元にお配り致しましたスライド資料の19ページをご覧ください。こちらは令和6年度松戸市献血推進協議会所属の実施結果となっております。下段にありますように、合計延べ34回、実施者は男性984人、女性373人、合計1357人という結果でございました。令和5年度と比べ実施回数は9回増加しております。内訳と致しましては男性233人、女性146人、合計379人実施人数が増えております。この結果はこちらにいらっしゃる団体の皆様のご協力の結果であると認識しております。

続きまして、令和6年度に松戸市にて行った取り組みについて皆様と共有させていただきたいと思っております。令和6年度松戸市の取り組みとしてポスター掲示を市内47か所の公共施設へ掲示いたしました。こちらが7月の「愛の血液助け合い運動」と3月の「千葉県献血推進強調月間」のポスターでございます。また、「はたちの献血」キャンペーンの広報用ポスターにつきましても赤十字血液センター様作成のものと厚生労働省作成のものを庁内に掲示させていただきました。こちらが厚生労働省作成のポスターとなります。

「松戸市二十歳の成人式」におきましては、千葉県作成の動画を上映いたしました。献血及びドナーに関する啓発動画となります。1分ほどの短い動画ですので、ご覧ください。

—動画上映—

続きまして、松戸献血ルームのPRと致しまして、庁内におけるポスター掲示及びこちらのポスターをポケットティッシュに封入して年間を通して市役所本館と新館で配布いたしました。

また、松戸献血ルームがごございます松戸ビルの4階には松戸市の中高生フリースペー

スとしてポップコーンまつどという施設がございます。松戸献血ルーム様からのご依頼によりこちらの施設にポスター及びチラシを配架しました。若年層の献血者増加に少しでもつなげられたらと考えております。

次に松戸市役所献血の状況についてお伝えいたします。スライド17ページをご覧ください。松戸市役所献血の広報活動と致しましては、献血当日にすべての課を複数回周って呼びかけを行いました。また、庁内デジタル掲示板、ポスター掲示、広報ティッシュの配布、庁内放送も引き続き行っているところでございます。

庁内では年に4回献血を行っておりますが、こうした取り組みにより献血者数を着実に増やすことができいております。令和6年度7月実施時の採血者数は93名、10月の採血者数は95名、1月の採血者数は84名、3月の採血者数は60名でございました。

また、令和6年度の試みとして、10月の市役所献血実施時は松戸保健所と共同開催をさせていただきました。これにより受付人数107人、献血実施者数95人を記録することができました。松戸保健所と松戸市役所本館は立地的に近い為、今後も7月と10月の献血実施時には共同開催を行うことで献血者数を確保していきたいと考えております。

また、グラフをご覧くださいますと過去3年間において3月実施時のオレンジ色のグラフの部分の採血者数が減少傾向にございます。これは、1月にご協力いただいた方については採血間隔が満たない為、ご協力いただけないという事情によるものです。年始の1月と年度末の3月はご協力いただける企業様に限りがあるため、市役所がこの受け皿として献血者を確保するという役割を担っている部分がございます。そのため、採血間隔が満たない状況においても3月末の献血実施というスケジュールとなっております。今後の市役所献血における課題は3月実施時の献血者の確保及び安定的に献血者数を確保していくということであると認識をしております。年度末は業務多忙の時期かと思っておりますが、血液の安定供給の為、関係団体のみなさまにおかれましても献血実施を前向きにご検討いただけますと幸いです。

7月、10月実施時には献血者数が増えたことから赤十字血液センター様より休憩用のバスをお借りし、混雑緩和を図りました。また、献血バスも2台体制で動員いただいているところでございます。こちらの写真が令和6年度7月に実施した際に配置した休憩用バスとなります。

また、令和6年度の市役所献血ではこのような記念品をお渡しいたしました。3月実施時は献血者が落ち込みやすい回ということもあり、赤十字血液センター様よりモバイルバッテリーをご提供いただきました。こちらは、献血にご予約の上、献血を実施した方にモバイルバッテリーをお渡しさせていただくという形で行った為、1日の来場者数を平準化し、会場の混雑緩和にもつながったかと思われまいます。令和6年度事業報告につきましては、以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。ご質問等につきましては、令和6年度事業決算報告終了後

に時間を設けますのでよろしくお願いします。

引き続きまして、令和6年度事業決算報告について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

それでは、スライド22ページをご覧ください。令和6年度事業決算についてご報告いたします。収入金額は前年度繰越金および活動費助成金、利息を合わせて91,675円、支出金額は昨年度の献血推進協議会におけるお茶代1,706円、献血記念品代47,344円、差引残高は42,625円となっております。事業決算報告は以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。それでは、令和6年度事業報告、事業決算報告に質問のある方は挙手をし、発言の前に、所属名・氏名をお願いします。ご質問、ご意見はいかがでしょうか。

(武藤委員)

松飛台工業会の武藤と申します。松飛台工業会で令和6年度にマブチクラブさんが記載されておりますが、令和6年度はマブチクラブさんの許可が出ませんでしたので、スーパーベルクスさんをお借りして2回実施しております。資料の訂正をお願いできればと思います。

(事務局)

承知いたしました。資料の訂正をさせていただきます。

(市場会長)

その他はいかがでしょうか。

(鶴岡委員)

松戸グリーンライオンズクラブの鶴岡です。10代～30代の献血される方が増えないとのことですが、割合としてはどうなのでしょう。人口が減っている関係で献血者の絶対数も減っていると思われませんが、献血者の割合等のデータはございますでしょうか。

(千葉県赤十字血液センター)

血液センターの村田です。質問にございました10代～30代の割合についてですが、人口は減っておりますが、献血にご協力いただいている方は横ばい状況です。ですから、現行の部分については皆様のご協力のもと、何とか維持をしているのかなという状況です。今後については、下支えする世代の協力が必要不可欠になるという点をご理解いただければと思います。少し古いデータにはなりますが、平成27年に対して令和6年の人数は17.5%ほど減っている状況ではございます。

(市場会長)

その他はいかがでしょうか。では、私から 1 点。不適とは具体的にどんな理由で不適合になるのでしょうか。

(千葉県赤十字血液センター)

血液センターの村田です。受付をしてから 1 割くらいの方は献血ができないというお話がございましたが、一番多いのは血色素の比重が少ないということです。検査をして血液の濃さが足りないという方が一番多いです。その他はお薬を飲まれていたり、海外渡航歴で出来なかったり、いろんな項目はございますがそのような状況となっています。

(市場会長)

比重不足というのは貧血ということでしょうか。

(千葉県赤十字血液センター)

貧血とまで言えなくとも、献血ができる基準にないということです。

(市場会長)

ありがとうございます。その他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、以上で令和 6 年度事業報告、事業決算報告を終わります。次に承認に入ります。令和 6 年度事業報告、事業決算報告を承認される方は拍手をお願いします。

—拍手—

拍手多数により、承認されました。続きまして、令和 7 年度事業計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

それでは、スライド 25 ページをご覧ください。令和 7 年度事業計画（案）についてご説明いたします。まず、松戸市全体の移動献血による献血目標としましては、実施者数 5,426 人となりまして、献血量の 200m l 換算で 10,691 人となっております。この目標値は国から県に割り当てられた目標量に基づいて、千葉県が各市町村の献血可能昼間人口比率により按分し、目標献血者数として定められているものです。

次に啓発活動といたしまして、1 広報、2 ポスター掲示、3 事前予約、4 周知を挙げさせていただきます。

1 広報では、昨年同様広報まつど及び松戸市ホームページに献血に関するお知らせを掲載してまいります。また、松戸市公式 X 及び松戸市公式 Facebook を活用し、献血日程の周知や松戸献血ルームの PR 活動を行ってまいります。

令和 6 年度より新たに松戸市公式 LINE アカウントが稼働を始めております。こちらは、既存の SNS とは異なり、利用者が受信設定されたカテゴリーの情報が届く形となっ

ております。献血事業につきましては、健康・医療・福祉の情報を希望すると設定いただいた方に向けて LINE の配信をしておりますので、令和7年度についても引き続き広報媒体として活用していきたいと考えております。松戸市公式 LINE の追加方法につきましてはお手元にごございます資料に掲載いたしましたので、必要な方はご覧いただければと思います。

また、広報用チラシを封入したポケットティッシュの配布も引き続き行ってまいりたいと思っております。松戸市役所献血時に使用したサンプルをお配りしておりますので、ご覧ください。封入したチラシに QR コードを付け、携帯電話等で読み込んでいただくと直接予約ページにつながる形となっております。松戸市役所献血を行わない時期に関しては、松戸献血ルームの広報チラシを封入して配布したいと考えております。

2 ポスター掲示では、「愛の血液助け合い運動」及び「千葉県献血強調月間」の際にこちらの一覧にごございます市内の公共施設 48 か所にてポスター掲示を行うことで献血の啓発を図ってまいりたいと考えております。また、若年層に対しての献血の周知・啓発として、令和7年度も成人式における動画上映やはたちの献血ポスター掲示を行いたいと考えております。

3.献血予約の呼びかけを目標に掲げさせていただきました。予約を推進することで、待ち時間の解消による献血者の利便性の向上及び献血会場の混雑緩和を目指していきます。

4.献血の啓発及び呼びかけといたしましては、松戸市役所にて献血を実施する際にこれまでもポスター掲示、庁内デジタル掲示板での周知、庁内放送を行ってまいりましたが、これらの取り組みに加え、今年度もすべての課をまわって献血の呼びかけを行ってまいります。呼びかけを行う際には、3点に重きを置いて広報をしたいと考えております。

まず、1点目として、献血にご協力いただくと赤十字血液センターからのサービスとして検査成績を見ることができる為、ご自身の健康管理に役立てられることをアピールしていきます。

次に、2点目として花粉症の時期に服薬していても献血可能な場合が多いことをお知らせしてきます。先ほど、令和6年度事業報告でもお伝えさせていただいたように市役所献血においては3月の実施人数が減少傾向にごございます。春先は花粉症により抗アレルギー薬を服薬されている方が多い為、市販の花粉症・アレルギー性鼻炎薬等の服用は献血可能であることをお知らせしていきます。ただし、薬の種類や病気の内容によっては献血者自身の健康を考慮し、献血を遠慮いただく場合もごございますので、問診医が判断する形となることをあわせて周知します。

最後に3点目として、400ml献血をお願いしていきます。医療機関から要請される輸血用血液の97%以上が400ml献血の血液という実情がごございます。例として800mlの輸血が必要な患者様がいた場合、400ml献血由来の血液製剤では2人分となりますが、200ml献血由来の血液製剤では4人分必要となります。人間一人ひとりの血液はたとえ血液型が同じでも微妙に違っているため、複数の献血者の血液をあわせて一人の患者さんに輸血するほど副作用発生の可能性が高くなってしまいます。献血いただく方のご意思を尊重し、献血によって体調を崩すことのないよう、問診により健康状況について慎重に確認したうえで、400ml献血のご協力をお願いしております。一方で、200ml献血

のみが対象となる高校生等若年層の方に対しては年齢が若いうちに献血経験をしていただけると将来の献血行動に結びつきやすいことから200ml献血の協力は若年層や初回献血者、献血に不安がある方をお願いをしております。

続いて、松戸駅周辺の公共サイン整備事業についてご紹介させていただきます。現在、松戸市都市計画課が中心となり松戸駅周辺の公共サイン整備事業を進めており、予防衛生課より松戸献血ルームのサインを加えてほしい旨要望を提出してまいりました。素案段階ではございますが、こちらが松戸駅西口ペDESTリアンデッキ上、エスカレーター横の設置予定図案となります。案内板の最上部に献血ルームへの案内がございます。また、こちらが松戸ビルおよびキテミテマツドの入り口に設置予定の図案となります。各案内看板は令和7年度の冬頃に設置される見込みですので、ご報告させていただきます。

次に、スライド資料20ページに令和7年度松戸市献血推進協議会所属の献血実施計画案をお示ししましたので、併せてご確認ください。事業計画案につきましては、以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。ご質問等につきましては、令和7年度予算(案)まで報告した後に時間を設けますのでよろしく申し上げます。それでは最後に令和7年度事業予算(案)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

令和7年度事業予算(案)についてご説明いたします。歳入につきましては、前期繰越金42,625円と日本赤十字社千葉県支部松戸市地区長からの「活動費助成金」の140,000円になります。歳出につきましては、献血推進事業費として、献血実施者への粗品関係費用で130,000円、その他に会議費、予備費といたしまして、歳入歳出ともに合計182,625円を見込んでおります。

歳入の活動費助成金につきまして、従来の5万円から14万円へ増額予定の理由についてご説明いたします。平成30年度まで日本赤十字社千葉県支部松戸市地区長より14万円助成をいただいておりますが、献血推進協議会の繰越金が30万円前後を推移しており、運営健全化の為、令和元年より助成金を5万円に減額し繰越金を減らしてきたという経緯がございました。先ほどご報告した通り、献血推進協議会の繰越金は42,625円まで減少したため、以前の14万円へ増額が可能か検討をお願いしたところ日本赤十字社千葉県支部松戸市地区より増額の内諾をいただくことができました。

尚、日本赤十字社千葉県支部松戸市地区長よりいただける助成金の予算は募金実績により増減があるため、今後も一律に14万円の活動費助成金をいただける確約はないものの、今年度分については14万円での支給が可能との試算をいただいている状況でございます。

令和7年度事業予算(案)については以上になります。

(市場会長)

ありがとうございます。それでは、令和7年度事業計画(案)、令和7年度事業予算(案)の協議に入ります。質疑のある方は挙手をし、発言の前に、所属名・氏名をお願いします。ご質問、ご意見はありませんか。よろしいでしょうか。それでは、次に承認に入ります。令和7年度事業計画(案)、令和7年度事業予算(案)を承認される方は拍手をお願いします。

—拍手—

拍手多数により、承認されました。

本日の議事内容はすべて終了いたしました。皆様のご協力により、無事大任を果たすことができました。これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

市場会長ありがとうございました。最後に、事務局より2点ご報告をさせていただきます。1点目は来年度の献血推進協議会の変更点についてです。

「松戸市附属機関等の設置及び運営に関する指針」に基づく、会議形式として附属機関と懇談会等の2種類がございます。献血推進協議会は、情報共有をする懇談会という位置づけでございます。

懇談会の場合には、委嘱状の交付を行わないという規定がございましたので、指針に則り来年度より委嘱状の交付を廃止いたします。

これに伴い、松戸市献血推進協議会会則にございます『第3条 協議会の委員は松戸市長が委嘱する。』という文言も削除させていただく方向ですので、ご了承賜りたいと存じます。来年度より個人に対する委嘱ではなく、参加依頼という形となります。報償費のお支払いは今のところ従来と変わらず8500円を考えております。献血推進協議会の来年度からの変更に関する説明は以上でございます。

2点目につきましては令和7年6月に松戸東ロータリークラブ様より献血記念品用として20万円のご寄附をいただきました。松戸東ロータリークラブ様のご厚志誠にありがとうございました。

ご寄附につきましては、献血推進協議会で所有している準公金としての扱いではなく、市民により広く知っていただける松戸市の予算に計上いたします。9月議会にて予算の補正を行い議会に承認いただいたのち、令和7年10月より使用できる見込みとなっております。購入した記念品の詳細につきましては来年度の献血推進協議会にてご報告させていただきますと思います。

事務局からの報告は以上でございます。